

平成28年度 第4回川口市行政評価外部評価委員会 次第

日 時 平成28年7月28日(木)
午後2時
場 所 鳩ヶ谷庁舎3階
305会議室

1 開 会

2 あいさつ

3 議 事

- (1) 各部会の評価結果について
 - ・各部会での評価経過及び評価結果
- (2) 意見交換
 - ・今年度の外部評価の感想
 - ・委員アンケート
 - ・「行政評価制度の改善」に関わる意見等

4 連絡事項

5 閉 会

平成 2 8 年度川口市行政評価
外部評価結果

事業コード	3310032	事業名	川口農業塾開催事業	部会名	第一部会
-------	---------	-----	-----------	-----	------

【評価の観点】

- ・各評価の観点ごとに委員の評価傾向を示します。
- ・小計と評価コメント数は一致しない場合があります。

	評価の観点							
	①趣旨・目的	②趣旨・目的に対する達成手段	③事業の効果	④事業主体の代替可能性	⑤進捗管理	⑥事業の効率化	⑦今後の事業の方向性	⑧その他
委員A	○	○	○	○	○	○	○	○
委員B	○		○					○
委員C	○	○	○				○	○
委員D	○	○	○	○	○			○
委員E	○	○	○	○	○	○	○	○
各観点ごとの小計	5	4	5	3	3	2	3	5

【評価結果(委員)】

- ・部会員からの評価(意見・アドバイス等)は、以下のとおりです。
- ・複数の部会員から同様の評価を頂いた場合は、集約をせずに掲載しています。

No.	I. 評価の観点	II. 評価コメント
1	①趣旨・目的	農地の保全と農家の後継は別々の課題である。
2	①趣旨・目的	将来に対するの取り組みとしては素晴らしい事業だと思うが、内容が伴っているかどうか疑問に思われる。
3	①趣旨・目的	農業就農者を増やす目的としては理解できる。
4	①趣旨・目的	趣旨はよくわかるが、目的が就農者の確保なのか、趣味なのか、はっきりしていない。
5	①趣旨・目的	趣旨・目的は理解できる。
6	②趣旨・目的に対する達成手段	課題を解決するための手段として、農地を保全していくのであれば耕作面積の拡大化や、農家の後継に対しては集団・法人経営化などが考えられるのではないかと。
7	②趣旨・目的に対する達成手段	意欲ある担い手を増やすことを目的としているが、新規就農者ばかりではないはずである。農家に対するの生産性や利益の向上に向けた取り組みも考えられるのではないかと。
8	②趣旨・目的に対する達成手段	初歩的な農業受講コースだけでは、目的を達成する手段として未熟ではないか。その後のコースとして県の就農予備校へ進むので良しとするのは、目的を達成する手段としては県に丸投げしているように思う。真に目的を達成するにはどうするのが良いのか、川口市で自己完結する方法は他に考えられないか。
9	②趣旨・目的に対する達成手段	計画性や目的などの記載が読み取りにくいので、募集要項の再検討が必要だと思われる。

No.	I. 評価の観点	II. 評価コメント
10	②趣旨・目的に対する達成手段	農業に関する他の事業との関連性は不明だが、就農へのきっかけとしては必要かと思われる。
11	③事業の効果	農業に関心を持ってもらうという点では一定の効果があると思う。しかし、この事業でなくても、体験型や見学・実習型でもそれは可能だと思う。
12	③事業の効果	代々、農家の人たちは大家族で子どもの時から親の畑仕事等を身近に見聞きして仕事を覚えていったのだと思う。そのため、この事業だけでは就農は難しいのではないか。
13	③事業の効果	農業的なものに興味を持っている人に対しての事業と考えるなら効果はあると思うが、本来の目的を達成するための事業と考えると、効果は薄いと思われる。
14	③事業の効果	農業に興味を持たせることはできるが、就農にはつながりにくい。
15	③事業の効果	(他事業との兼合いもあるが)一定の効果はあると思われる。
16	④事業主体の代替可能性	埼玉県でも同様な事業を行っており、代替は可能だと思う。この県の事業を紹介する、または受講料の補助を出すなどでも良いのではないか。
17	④事業主体の代替可能性	公共性が高く、農地の貸し借りなどの仲介も含めると、民間では難しいと思う。
18	④事業主体の代替可能性	川口市で取り組む価値はあると思うが、受講者が支払う費用が安くなるという点は、受益者負担の観点からは無意味である。費用の点だけが川口市で実施している理由では、県の事業で代替できる。
19	⑤進捗管理	川口農業塾を卒業した後、県の就農予備校に進むまでの経過は把握しているが、その後は不明というのでは進捗管理は不十分ではないか。
20	⑤進捗管理	受講者の確保ができたからといって、農業塾開催の目的達成にはならない。
21	⑤進捗管理	現状では進学者数を指標のひとつとしているが、将来的には、より具体的な指標が必要と思われる。
22	⑥事業の効率化	適正と思われる。
23	⑦今後の事業の方向性	より目的に特化した事業に解体していくなどの変更が望ましいのではないか。
24	⑦今後の事業の方向性	就農者の育成と同時に、農地の確保や農業での生活保証・農地の貸し手である農家の保証など、多方面から取り組む必要がある。農業就農者の育成だけでは、目的は達成できない。
25	⑦今後の事業の方向性	農業関連の他事業との位置づけをしっかりとした上で、全体としての方向性を明確にして欲しい。
26	⑧その他	この事業は立ち上げの経緯があり、それを引き継いでいることがわかった。
27	⑧その他	以前、子どもが親の農地を利用し、一般的なとうもろこしではなく、収穫数は少ないがとても甘い品種のとうもろこしを作っているというテレビ番組を観たことがある。こういう特別な作物を作るといことを考えていかないと、将来に向けての農業の発展は見込めないのではないか。
28	⑧その他	川口という都市に近い地域の特性上、今後、農業が発展するのは難しいのではないか。たとえ農業を充実させるとしても、現在行われている就農者の育成というよりは特性を活かした農業を考えた方が良いのかもしれない。

No.	I. 評価の観点	II. 評価コメント
29	⑧その他	就農目的ではない、趣味としての野菜農園塾のような市民農園コースの新設をしたらどうか。
30	⑧その他	農家の不安をやわらげ、農地を貸し出しし易い方策を練り、もっと周知したらどうか。また、遊休農地については学校での体験授業に活用するなどしてはどうか。

【評価結果(第一部会)】

・部会員からの評価(意見・アドバイス等)を受け、部会としての評価結果を以下にまとめました。

評価コメント
<p>◆将来に向けて就農しようとする人を育てるという趣旨・目的は理解出来るが、達成する為の手段として農業塾は川口市で行い、卒業後は県の就農予備校で学び、将来的に川口市に戻って就農するという構図では不十分な印象を受ける。</p> <p>◆同様の事業を県でも行っているのであれば、そちらに代替可能であると思う。農業塾を開催するのではなく、市民農園の野菜作りのコースを作り、そこで農業に興味をもってもらい、その後本格的に学びたいという方へ県の就農予備校の紹介や受講料の補助を行なうなどの方法でも良いと思われる。川口市が就農者の確保を目的としているのであれば、県の事業に繋げるのではなく、育成から就農まで川口市で自己完結する方法を考える必要もあるのではないかと。</p> <p>◆就農者の育成は進んでいるが、その先には農地の貸し借りの問題がある。農地を貸し出しし易い方策を練るなど、現農家への保証を含め、多方面から課題解決へ取り組む必要がある。</p> <p>◆事業課は、他の農業関連の事業と目的を整理して、農地を守る、農家を守る、収益率を高めるといった事業展開に、繋げていただきたい。</p>

事業コード	6120026	事業名	日本ガーディアン・エンジェルス活動支援事業	部会名	第一部会
-------	---------	-----	-----------------------	-----	------

【評価の観点】

- ・各評価の観点ごとに委員の評価傾向を示します。
- ・小計と評価コメント数は一致しない場合があります。

	評価の観点							
	①趣旨・目的	②趣旨・目的に対する達成手段	③事業の効果	④事業主体の代替可能性	⑤進捗管理	⑥事業の効率化	⑦今後の事業の方向性	⑧その他
委員A	○	○	○	○	○		○	
委員B	○	○	○			○	○	
委員C	○	○	○	○	○	○	○	○
委員D	○	○		○	○	○	○	
委員E	○	○	○	○	○	○	○	
各観点ごとの小計	5	5	4	4	4	4	5	1

【評価結果(委員)】

- ・部会員からの評価(意見・アドバイス等)は、以下のとおりです。
- ・複数の部会員から同様の評価を頂いた場合は、集約をせずに掲載しています。

No.	I. 評価の観点	II. 評価コメント
1	①趣旨・目的	今日的な役割(専門知識を有したパトロール等)はほとんど期待できない。
2	①趣旨・目的	趣旨・目的は理解できる。
3	①趣旨・目的	防犯目的の事業は理解できるが、その対象が日本ガーディアン・エンジェルスなのかは疑問。
4	①趣旨・目的	この事業の目的は、防犯及び非行を防ぐ、減らすことであり、家賃補助ではないのではないか。趣旨も明確でない。
5	①趣旨・目的	防犯という趣旨は理解できる。
6	②趣旨・目的に対する達成手段	自主的活動として展開することに任せるべきではないか。
7	②趣旨・目的に対する達成手段	隊員の参加人数がだいぶ少なくなってきているので、その結果パトロールの回数も少なくなり、達成手段としては心もとない。
8	②趣旨・目的に対する達成手段	防犯パトロール等を目的とする達成手段に家賃補助は理解できない。
9	②趣旨・目的に対する達成手段	賃貸料を補助するだけでは適切ではない。活動支援が家賃補助になってしまっているのではないか。

No.	I. 評価の観点	II. 評価コメント
10	②趣旨・目的に対する達成手段	活動実績があまりなく、人員そのものも減少傾向にあるようである。家賃などのような固定的な支出は望ましくない。
11	③事業の効果	家賃補助でも事務所の利用実態はほとんど確認できない。家賃補助の効果はほとんどない。
12	③事業の効果	年間のパトロールの回数が減っているので、青少年の非行防止としての効果は少ないのではないか。
13	③事業の効果	支部の家賃を保証することで事業の効果が達成するとは考えにくい。
14	③事業の効果	現状では効果は認められない。
15	④事業主体の代替可能性	(必要なさそうではあるが、)必要であれば公共施設の一部。
16	④事業主体の代替可能性	同団体が自主的に活動できるように期待する。
17	④事業主体の代替可能性 ⑦今後の事業の方向性	町会・自治会他研修とボランティアで十分可能。
18	④事業主体の代替可能性	町会・自治会パトロールで代替可能ではないか。
19	④事業主体の代替可能性	公民館(会議室)などを借りる。
20	④事業主体の代替可能性	ガーディアン・エンジェルスである必要があるのかどうか再考が望まれる。町会・自治会や各種団体青年部等に依頼。
21	⑤進捗管理	進捗管理は不十分で、家賃補助するのみだった。
22	⑤進捗管理	支部の内部に何が置かれているかも把握していないのでは、進捗管理がされているとは言い難い。
23	⑤進捗管理 ⑥事業の効率化	パトロールや防犯教室開催によって、犯罪数は減ったのか。声をかけた(注意した)青少年の数などわからない。
24	⑤進捗管理	活動実績も乏しく、現状把握に疑問がある。
25	⑥事業の効率化	ボランティアでパトロールを行なっている人数を増やす為に何かしているのかわからない。
26	⑥事業の効率化	年5回程度のパトロールのために家賃の補助をするのは、事業の効率としていかがか。他の活動団体との補助の公平性とはどうなのか。
27	⑥事業の効率化	部屋の使用状況など任せっぱなしで、非効率。前年同様という事で継続しているだけのように感じる。
28	⑦今後の事業の方向性	補助に疑問。
29	⑦今後の事業の方向性	今の現状では効果が少ないと思われる。家賃補助ではなく公民館等の活用を考えてみてはどうか。
30	⑦今後の事業の方向性	家賃補助でなく他の形で事業を見直すべきではないか。

No.	I. 評価の観点	II. 評価コメント
31	⑦今後の事業の方向性	賃貸料補助を減らす代わりに、会員の活動やパトロールの手伝い、ボランティア募集の支援、補助はいかがか。
32	⑦今後の事業の方向性	本当に必要性があるとしたら、相応の要望(指導)を行ない、また活動報告を課す必要があると思われる。家賃など固定的支出ではなく、用具など実際の活動に即した物への補助が適切と思われる。
33	⑧その他	川口市から活動回数を増やすよう指導したと伺ったが、そもそも指導を受けて活動するものではないのではないのか。活動が活発な団体(活動実体がある団体)だから、何かしらの補助をするというものではないのか。

【評価結果(第一部会)】

・部会員からの評価(意見・アドバイス等)を受け、部会としての評価結果を以下にまとめました。

評価コメント
<p>◆趣旨・目的は理解出来るが、その役割を担っているのがこの団体でよいのかは疑問である。また、達成する手段として家賃補助のみというのは適切ではない。家賃補助ではなく公共施設の一部分を利用してもらうなど、別の方法も考えられるのではないか。</p> <p>◆事業主体の代替可能性としては、町会・自治会や各種団体等の防犯活動を実施している広範な方をお願いしても良いのではないだろうか。</p> <p>◆主活動である年間のパトロール回数や会員も減少していることは、事業の効率性、他の団体との公平性からいって、この団体との今後の関わり方の再考が望まれる。</p> <p>◆今後の事業の方向性としては、この団体の活動の手伝いや、活動に必要な用具などの補助という形に変えてはいかがか。更には、定期的に活動報告を受けていくべきであろう。</p>

事業コード	1430116	事業名	高齢者世帯住替家賃助成金	部会名	第一部会
-------	---------	-----	--------------	-----	------

【評価の観点】

- ・各評価の観点ごとに委員の評価傾向を示します。
- ・小計と評価コメント数は一致しない場合があります。

	評価の観点							
	①趣旨・目的	②趣旨・目的に対する達成手段	③事業の効果	④事業主体の代替可能性	⑤進捗管理	⑥事業の効率化	⑦今後の事業の方向性	⑧その他
委員A	○		○				○	○
委員B	○	○	○	○			○	○
委員C	○		○	○		○	○	○
委員D	○		○		○	○		○
委員E	○	○	○	○	○	○	○	
各観点ごとの小計	5	2	5	3	2	3	4	4

【評価結果(委員)】

- ・部会員からの評価(意見・アドバイス等)は、以下のとおりです。
- ・複数の部会員から同様の評価を頂いた場合は、集約をせずに掲載しています。

No.	I. 評価の観点	II. 評価コメント
1	①趣旨・目的	高齢者の住まいの安定という趣旨は理解できる。
2	①趣旨・目的	一般の高齢者は年金暮らしの方が多いので、改めて家を借りるとなると金銭的負担が多くなるので、良い事業と思う。
3	①趣旨・目的	住替家賃助成は、生活保護前のところを支援するということで理解できる。
4	①趣旨・目的	趣旨・目的は明確。
5	①趣旨・目的	趣旨・目的は理解できる。
6	②趣旨・目的に対する達成手段	市の窓口でのきめ細かな対応が必要となるのではないだろうか。
7	②趣旨・目的に対する達成手段	他の補助や助成金もある事から適切と考える。
8	③事業の効果	公営住宅対応よりは安い。
9	③事業の効果	助成額・利用者共に減少。

No.	I. 評価の観点	II. 評価コメント
10	③事業の効果	それなりの効果が期待される。
11	③事業の効果	利用者が毎年発生するという事は一定の効果が認められる。民生委員等に頼るだけでなく、広く知らしめても良いのではないか。
12	③事業の効果	この事業があることにより、高齢者の安心に繋がっている。
13	③事業の効果	実績値の多寡ではなく、万一の安心という意味で効果があると思う。
14	④事業主体の代替可能性	代替可能性はないと思われるので、やはり市が受け持つのが良い。
15	④事業主体の代替可能性	代替する事業は考えにくい。
16	④事業主体の代替可能性	市の事業として適切である。
17	⑤進捗管理	10年という助成期間中の管理はどうなっているのか。
18	⑤進捗管理	成果の指標は件数の増減ではないという点は賛同できる。周知に関して十分であると思う。
19	⑥事業の効率化	窓口対応だけで効率化は図れるか。
20	⑥事業の効率化	効率よく予算が見直されている。
21	⑥事業の効率化	単独では小さな効果しか得られないが、生活保護などの他事業との連携もとれている点が評価できる。
22	⑦今後の事業の方向性	単に非課税65歳以上という条件だけでよいか。(介護保険での預貯金等資産の申告と同一意識)
23	⑦今後の事業の方向性	持ち家の人と借家の人との割合がわからないが、高齢者の人数が多くなると思われるので費用は拡大するのではないか。
24	⑦今後の事業の方向性	高齢者が増加していく時代。必要とする高齢者も増加するのではないか。その時の市としての対応も考える必要がある。
25	⑦今後の事業の方向性	周知先としては当該高齢者だけではなく、老朽化の進んだアパートの大家などにも必要ではないだろうか。事業の趣旨からは離れるが、建替が進み、防災などには有効。
26	⑧その他	この制度対象以外に高齢者で困っている人はいないだろうか。(高齢者というだけで入居拒否等)
27	⑧その他	古い家屋やアパートは家賃が安く、高齢者が入居していることが多いと思われるので、これから需要が増えると思われる。

No.	I. 評価の観点	II. 評価コメント
28	⑧その他	10年経過後の対応は、事前に準備しておく必要はあるか。(例. 生活保護だけでなく継続等)
29	⑧その他	高齢者の増加と助成の減額がよく見直されていると思う。

【評価結果(第一部会)】

・部会員からの評価(意見・アドバイス等)を受け、部会としての評価結果を以下にまとめました。

評価コメント
<p>◆高齢者に対する住まいの安定という趣旨は理解できる。</p> <p>◆市の窓口でのきめ細かな対応が必要だろう。</p> <p>◆万一の安心という意味でも効果があると思われる。今後、高齢化に伴い利用の範囲が拡大することから、民生委員等のみでなく広く知らしめてもよいのではないか。例えば、老朽化したアパートの大家にも、本制度を周知し、防犯、防災の面からも利用を促したらどうか。</p> <p>◆代替可能性は考えにくく、市の事業として適切である。</p> <p>◆10年経過後、生活保護・施設入所等に至らない高齢者への対応を事前に準備しておく必要があるのではないか。</p> <p>◆対象者については、単に非課税であったとしても、資産を沢山所有している高齢者もいるので、公平の観点からも財産面に配慮してもよいのではないか。</p>

事業コード	1430126	事業名	高齢者入居保証支援事業補助金	部会名	第一部会
-------	---------	-----	----------------	-----	------

【評価の観点】

- ・各評価の観点ごとに委員の評価傾向を示します。
- ・小計と評価コメント数は一致しない場合があります。

	評価の観点							
	①趣旨・目的	②趣旨・目的に対する達成手段	③事業の効果	④事業主体の代替可能性	⑤進捗管理	⑥事業の効率化	⑦今後の事業の方向性	⑧その他
委員A	○						○	
委員B	○	○		○		○	○	○
委員C	○	○	○	○		○	○	
委員D	○	○	○					
委員E	○	○	○	○	○	○	○	
各観点ごとの小計	5	4	3	3	1	3	4	1

【評価結果(委員)】

- ・部会員からの評価(意見・アドバイス等)は、以下のとおりです。
- ・複数の部会員から同様の評価を頂いた場合は、集約をせずに掲載しています。

No.	I. 評価の観点	II. 評価コメント
1	①趣旨・目的	利用者が長期間いないということは、事業の必要性が低いのではないか。
2	①趣旨・目的	一般の高齢者は年金暮らしの方が多いので、改めて家を借りるとなると金銭的負担が多くなるので、良い事業と思う。
3	①趣旨・目的	目的の範囲が狭い。必要あるのか。
4	①趣旨・目的	趣旨・目的は明確。
5	①趣旨・目的	趣旨・目的は理解できる。
6	②趣旨・目的に対する達成手段	市の窓口でのきめ細かな対応が必要となるのではないだろうか。
7	②趣旨・目的に対する達成手段	窓口対応しかないのか。
8	②趣旨・目的に対する達成手段	高齢者が利用しやすいように、相談、審査方法、利用方法の再検討。
9	②趣旨・目的に対する達成手段	他の補助や助成金もある事から適切と考える。

No.	I. 評価の観点	II. 評価コメント
10	③事業の効果	何年にも渡り対象者がいないので、効果は判断できない。
11	③事業の効果	効果はわからない。
12	③事業の効果	実績値の多寡ではなく、万一の安心という意味で効果があると思う。
13	④事業主体の代替可能性	代替可能性はないと思われるので、やはり市が受け持つのが良い。
14	④事業主体の代替可能性	利用者がいないのなら、他の方法を考えても良いのではないか。
15	④事業主体の代替可能性	市の事業として適切である。
16	⑤進捗管理	成果の指標は件数の増減ではないという点は賛同できる。周知に関して十分であると思う。
17	⑤進捗管理	高齢者の安心のため、実績がなくとも是非継続してほしい。
18	⑥事業の効率化	手続きが簡単ではないので、市職員の手助けが必要と思う。
19	⑥事業の効率化	本当に必要な制度ならば、他の方法を考えて効率の良い事業にすべきではないか。
20	⑥事業の効率化	単独では小さな効果しか得られないが、生活保護などの他事業との連携もとれている点が評価できる。
21	⑦今後の事業の方向性	長期間利用実績がないことから、なくてもよいのではないか。
22	⑦今後の事業の方向性	持ち家の人と借家の人との割合がわからないが、高齢者の人数が多くなると思われるので費用は拡大するのではないか。
23	⑦今後の事業の方向性	他の方法で支援できないか考える必要があるのではないか。
24	⑦今後の事業の方向性	費用もかかっていないようなので継続して欲しい。
25	⑧その他	利用者がいないので、他の事業に振り替えても良いのではないか。

【評価結果(第一部会)】

・部会員からの評価(意見・アドバイス等)を受け、部会としての評価結果を以下にまとめました。

評価コメント
◆利用者が限られ、かつ利用者が長期間居ない状況である。
◆市の窓口でのきめ細かな対応が必要だろう。手続きが難しいので何か工夫を考えてもいい。
◆利用者がいないため効果はわからないが、安心という意味では効果があると思われる。
◆利用実績がないため、事業の継続を含めた見直しや、他の事業での支援を考えてもよいのではないかという意見があった。一方、費用が掛からないのであれば安心という意味で継続して欲しいという意見もあった。

事業コード	6520012	事業名	盛人大学事業	部会名	第二部会
-------	---------	-----	--------	-----	------

【評価の観点】

- ・各評価の観点ごとに委員の評価傾向を示します。
- ・小計と評価コメント数は一致しない場合があります。

	評価の観点							
	①趣旨・目的	②趣旨・目的に対する達成手段	③事業の効果	④事業主体の代替可能性	⑤進捗管理	⑥事業の効率化	⑦今後の事業の方向性	⑧その他
委員A	○	○	○	○	○	○	○	
委員B	○	○	○	○				
委員C			○	○		○		
委員D	○	○	○					○
委員E	—	—	—	—	—	—	—	—
各観点ごとの小計	3	3	4	3	1	2	1	1

【評価結果(委員)】

- ・部会員からの評価(意見・アドバイス等)は、以下のとおりです。
- ・複数の部会員から同様の評価を頂いた場合は、集約をせずに掲載しています。

No.	I. 評価の観点	II. 評価コメント
1	①趣旨・目的	「世代間のつながり」「盛人世代の交流」「地域参加のきっかけ」といった趣旨・目的と、「協働推進」との結びつきがよく分からない。
2	①趣旨・目的	趣旨・目的が、経年劣化している感じがする。他の市民大学や老人大学との棲み分けを明確にするためにも、再度原点からの再考を求めたい。
3	①趣旨・目的	盛人大学の目的が次世代へのコミュニティーの伝承であるならば、各コースの終盤に清掃活動等のボランティアをカリキュラムとして盛り込むのはいかがか。
4	②趣旨・目的に対する達成手段	手段として盛人大学はよいと思うが、それが果たして「協働推進」なのかは疑問が残る。
5	②趣旨・目的に対する達成手段	カリキュラムの最後にボランティア活動の体験コースを必ず組み入れてはどうか。
6	②趣旨・目的に対する達成手段	この事業のスタートが50歳の盛人式から派生したものだったとしても、現代の定年に合わせ、60歳以上を対象としてもよいのではないか。
7	③事業の効果	参加者やリピーターの数値では「協働推進」という盛人大学の目的に対して効果を上げているかは測定できない。この点を意識して、事業の効果を測る努力をすると良いと考える。
8	③事業の効果	効果そのものは事業の性格上なかなか正確に確認できないし、測定もできないように思う。
9	③事業の効果	受講している方々は、盛人大学の趣旨を理解して受講しているのか判断できない。よって、目に見えた効果が分からない。
10	③事業の効果	受講者に、コースの内容に関するアンケートを実施したらどうか。

No.	I. 評価の観点	II. 評価コメント
11	④事業主体の代替可能性	市が関わらなくとも、NPO法人に補助するなど事業実施は可能ではないか。
12	④事業主体の代替可能性	市民大学や老人大学との棲み分けを明確にして事業の見直しをしない限り、いろいろな点で、他の事業とかぶることになる。
13	④事業主体の代替可能性	説明を受けても市民大学となぜ差別化したのかと疑問に思ってしまう。市民大学と異なる部分は年齢以外理解しづらい。年齢制限のない市民大学の方が市民に公平であるように思う。よって、NPO法人に全てを託してもよいのではないか。
14	⑤進捗管理	NPO法人が果たしている役割がよくわからない。NPO法人を設立すること自体が重要だったのかという推測をしてしまう。
15	⑥事業の効率化	生涯学習ではなく協働推進であるということが明確にわかるような事業内容にするべきではないか。それが出来なければ、類似の事業と統合した方がよいという議論がいずれ出てくると思われる。
16	⑥事業の効率化	受講内容が趣味の延長となるような講座(そば打ち、オカリナ、シャンソン等)は、その機会を提供するのは構わないが、受講料は全て実費にすべきではないかと思う。直接的に盛人大学の趣旨に結びついていないような内容の講座に関して、税金を使うべきではないと考える。
17	⑦今後の事業の方向性	この事業の趣旨・目的と「協働推進」との結びつきを明確にすることにより、取り組み内容は変わってくるのではないか。
18	⑧その他	受講者の出身地や現在の職業又は定年前の職業等のデータを取り、把握しておく必要が有ると思う。

【評価結果(第二部会)】

・部会員からの評価(意見・アドバイス等)を受け、部会としての評価結果を以下にまとめました。

評価コメント
◆協働推進を意識した趣旨・目的が明確になっていないと、他に類似事業がある中、達成手段として盛人大学の必要性を主張するのは難しいのではないか。
◆現在は趣味の延長であるようなカリキュラムに思えるため、税金を使って行う事業なのであれば、まずは趣旨・目的を明確にし、受講者の出身地や職業などのデータや受講者のアンケート結果などからニーズの把握をし、趣旨・目的に沿うようなカリキュラム内容にしていってらどうか。
◆受講者に自発的な社会貢献活動を促すため、各コースの終盤に清掃活動等といったボランティア活動の体験コースをカリキュラムとして盛り込むのはいかがか。
◆市民大学など類似事業との棲み分けを明確にし、その上で実施主体を再考したらどうか。現状では、NPO法人に任せ、市は補助を行なうなどで事業実施は可能ではないかと思う。

事業コード	4310032	事業名	環境学習事業	部会名	第二部会
-------	---------	-----	--------	-----	------

【評価の観点】

- ・各評価の観点ごとに委員の評価傾向を示します。
- ・小計と評価コメント数は一致しない場合があります。

	評価の観点							
	①趣旨・目的	②趣旨・目的に対する達成手段	③事業の効果	④事業主体の代替可能性	⑤進捗管理	⑥事業の効率化	⑦今後の事業の方向性	⑧その他
委員A			○	○	○			
委員B	○	○		○			○	
委員C		○	○				○	
委員D		○	○			○		
委員E	－	－	－	－	－	－	－	－
各観点ごとの小計	1	3	3	2	1	1	2	0

【評価結果(委員)】

- ・部会員からの評価(意見・アドバイス等)は、以下のとおりです。
- ・複数の部会員から同様の評価を頂いた場合は、集約をせずに掲載しています。

No.	I. 評価の観点	II. 評価コメント
1	①趣旨・目的	21世紀の啓蒙事業として必要不可欠である。
2	②趣旨・目的に対する達成手段	小中学校に対象範囲が偏る傾向がみられるので、成人対象・事業者対象の活動に注力する必要性を感じる。そのためには、趣旨に賛同してくれる経済団体・同業者組合・ロータリークラブ・青年会議所・商工会議所青年部その他の経済団体のチャネルを増やしたほうが良い。
3	②趣旨・目的に対する達成手段	「環境学習お助け情報」を発行し各学校へ配布しているようだが、実際に授業で利用されているかを把握しているのか。
4	②趣旨・目的に対する達成手段	子どもから大人へ、または企業への展開が必要だと思う。
5	③事業の効果	効果を短期的に測定するのは難しいと思う。
6	③事業の効果	環境講演会の参加者アンケートは有効だと思うが、質問内容を次のプログラムにフィードバックできるような工夫が必要だと思う。
7	③事業の効果	この事業を行ったことの効果として、企業や学校で改善された点を明らかにしてほしい。
8	③事業の効果	意識改革だけでなく、実際に市内の環境が改善された点を、具体的に計る指標が必要ではないか。
9	④事業主体の代替可能性	NPO法人(川口市地球温暖化防止活動推進センター)が主体となって環境学習事業を実施することも可能ではないか。
10	④事業主体の代替可能性	川口市地球温暖化防止活動推進センター主体が効率的と思われる。市場原理で動く民間では不可能な事業である。

No.	I. 評価の観点	II. 評価コメント
11	⑤進捗管理	事業の効果とも関係するが、評価(効果測定)も含めたPDCAサイクルを作り、それを回していくような進捗管理をしたらどうだろう。
12	⑥事業の効率化	「環境学習お助け情報」の発行による小学校の「総合的な学習の時間」で、実際には何%の学校に採用してもらえたのかを調査した方が良いと思う。また、採用実績を上げるための施策も必要ではないか。
13	⑦今後の事業の方向性	川口市の環境政策とリンクさせた取り組みを意識したほうが良いのではないかと。例えば、川口市では20××年までにCO2削減を2000年比〇〇%削減するなど。ゴミゼロミッションの達成目標を合わせて周知しても良いと思う。
14	⑦今後の事業の方向性	子どもから大人へ繋がるような方法を考えて、新しい取り組みが必要だと思う。たとえば、学校の環境学習の時間(5年生のKids'ISO14000プログラムなど)を参観形式にもらうよう、学校と連携を取るなどしてはいかがか。

【評価結果(第二部会)】

・部会員からの評価(意見・アドバイス等)を受け、部会としての評価結果を以下にまとめました。

評価コメント
<p>◆趣旨・目的は理解できる。手段としての環境教育は意味があると思うし、この事業は民間で行うものではないと思うので、市が実施するのも理解できる。</p> <p>◆学校を使って子どもに対して実施することも良いが、対象は市民全体ということであるので、大人や企業に対してもチャンネルを広げてはいかがか。たとえば、学校で実施する際に参観形式にするなど大人と一緒に聞いても良いと思う。</p> <p>◆この事業は啓蒙事業であるので、事業の効果を短期間で把握するのは難しいと思う。しかし、アンケートなどからきちんと効果を分析して蓄積しておくのは有効的である。ただし、現在のアンケート内容ではあまり役立つ情報は得られないと思うので、内容の見直しをした方が良いのではないかと。</p>

事業コード	6110072	事業名	交通災害共済事業	部会名	第二部会
-------	---------	-----	----------	-----	------

【評価の観点】

- ・各評価の観点ごとに委員の評価傾向を示します。
- ・小計と評価コメント数は一致しない場合があります。

	評価の観点							
	①趣旨・目的	②趣旨・目的に対する達成手段	③事業の効果	④事業主体の代替可能性	⑤進捗管理	⑥事業の効率化	⑦今後の事業の方向性	⑧その他
委員A	○	○	○	○		○	○	○
委員B	○	○	○	○		○	○	
委員C	○	○	○			○	○	○
委員D						○	○	○
委員E	—	—	—	—	—	—	—	—
各観点ごとの小計	3	3	3	2	0	4	4	3

【評価結果(委員)】

- ・部会員からの評価(意見・アドバイス等)は、以下のとおりです。
- ・複数の部会員から同様の評価を頂いた場合は、集約をせずに掲載しています。

No.	I. 評価の観点	II. 評価コメント
1	①趣旨・目的	今の時代において必要とされていない。(加入率の低さがそれを表している。)
2	①趣旨・目的	共済制度存続の目的ないし役割は、すでに終わっていると思う。市の独自運営は非効率である。
3	①趣旨・目的	市主体だと安心・安全と思い、加入している人が多いと思うが、同内容で廃止している市があるのが気になる。
4	②趣旨・目的に対する達成手段	共済の仕組みが原始的であり、今日の保険商品として合理性がない。仮にこの事業が必要だとしても、今の共済は手段としていかなものか。
5	②趣旨・目的に対する達成手段	給付金支給のシステムは、民間の少額短期保険等の商品を検討することが必要で、自主運営の共済制度は時代に合わない。
6	②趣旨・目的に対する達成手段	社会福祉協議会の会費のように町会集金時に加入依頼も有りなのではないか。もっと加入率や周知度が上がると思う。
7	③事業の効果	加入率の低さは効果の程を疑わせるに十分な数字だと思う。(受益者の少なさは正当性を疑わせることにもつながるのではないか。)
8	③事業の効果	一定程度の効果は認められるが、他の傷害保険の内容と比較してみないと効果を測定することはできない。
9	③事業の効果	加入率が低いので効果が高いか不明。
10	④事業主体の代替可能性	民間保険会社の事業である。(民間に委託するということも考えられる。)

No.	I. 評価の観点	II. 評価コメント
11	④事業主体の代替可能性	自主運営の共済制度は時代に合わないため、民間保険会社に委託したらどうか。 補償内容の充実・多様性に対応するためにも、民間の知恵を活用するとよいと思う。
12	⑥事業の効率化	事業規模に比して人件費が大きすぎる(人件費がこの通りの数字であるならば)。実は人件費が過大に見積もられており、かなり収益性の高い事業なのではないか。果たして税金を使って行なうのに相応しい事業なのか。
13	⑥事業の効率化	一般会計からの人件費と基金積立金が硬直化しており、非常に非効率である。
14	⑥事業の効率化	満足度と加入率のギャップがあるのはなぜなのか。
15	⑥事業の効率化	事業の収支バランスの点からも、この共済事業の内容を再構築が必要だと思う。
16	⑦今後の事業の方向性	実施する必要があるのか。
17	⑦今後の事業の方向性	さいたま市などの廃止事例を研究して、当市の独自のアイデアを打ち出すべき時期である。
18	⑦今後の事業の方向性	保障内容を強化した共済は新しく出す予定はないのか。区民交通傷害保険のように追加料金を出し損害賠償額を増やすプランも考えて欲しい。
19	⑦今後の事業の方向性	アンケート結果で87%の方が事業継続を希望されているが、約59万人の市民の数からすると加入者が少なすぎる。受付期間が限定的(受付方法も含む)であるところから見直すべきではないか。
20	⑧その他	民業圧迫にならないのか。事業規模に比して、このような大きな基金を持っていて良いのか。
21	⑧その他	基金については払い戻し等も視野に入れてはどうか。残高が増えすぎている。
22	⑧その他	事業費と人件費のバランスに疑問を感じる。

【評価結果(第二部会)】

・部会員からの評価(意見・アドバイス等)を受け、部会としての評価結果を以下にまとめました。

評価コメント
◆民間でできる事業、加入率の低さ等の点から、今の時代に必要とされていないのではないかと。また、人件費と基金積立金が硬直化しているため非効率である。民間保険会社に委託することなども含め検討が必要。
◆続けるのであれば、今のまま継続するのではなく、他市の廃止事例を研究し、民間の知恵を活用しての独自のアイデア、新しいタイプの保険等を打ち出すことが必要だろう。大きい基金については、払戻し等も含め、検討が必要。
◆市実施の事業であることで安心・安全と思い加入している人も多い。加入率を上げる方策としては、町会費集金時にあわせて加入依頼することも効果があると思う。
◆民間の保険と比較して検証していくとよいのではないかと。今の時代にかない、かつ市がやるべき事業であるというような形にしていく必要があるのではないかと。民間でできることであれば民間で、民間の補完であるのであれば市でやるといったところを整理するとよい。

事業コード	6110062	事業名	学童等災害共済事業	部会名	第二部会
-------	---------	-----	-----------	-----	------

【評価の観点】

- ・各評価の観点ごとに委員の評価傾向を示します。
- ・小計と評価コメント数は一致しない場合があります。

	評価の観点							
	①趣旨・目的	②趣旨・目的に対する達成手段	③事業の効果	④事業主体の代替可能性	⑤進捗管理	⑥事業の効率化	⑦今後の事業の方向性	⑧その他
委員A	○	○	○	○		○	○	○
委員B	○	○	○	○		○	○	
委員C		○					○	
委員D						○	○	○
委員E	－	－	－	－	－	－	－	－
各観点ごとの小計	2	3	2	2	0	3	4	2

【評価結果(委員)】

- ・部会員からの評価(意見・アドバイス等)は、以下のとおりです。
- ・複数の部会員から同様の評価を頂いた場合は、集約をせずに掲載しています。

No.	I. 評価の観点	II. 評価コメント
1	①趣旨・目的	今の時代において必要とされていない。(加入率の低さがそれを表している。)
2	①趣旨・目的	共済制度存続の目的ないし役割は、すでに終わっていると思う。市の独自運営は非効率である。
3	②趣旨・目的に対する達成手段	共済の仕組みが原始的であり、今日の保険商品として合理性がない。仮にこの事業が必要だとしても、今の共済は手段としていかなものか。
4	②趣旨・目的に対する達成手段	給付金支給のシステムは、民間の少額短期保険等の商品を検討することが必要で、自主運営の共済制度は時代に合わない。
5	②趣旨・目的に対する達成手段	社会福祉協議会の会費のように町会集金時に加入依頼も有りなのではないか。もっと加入率や周知度が上がると思う。
6	③事業の効果	加入率の低さは効果の程を疑わせるに十分な数字だと思う。(受益者の少なさは正当性を疑わせることにもつながるのではないか。)
7	③事業の効果	一定程度の効果は認められるが、他の傷害保険の内容と比較してみないと効果を測定することはできない。
8	④事業主体の代替可能性	民間保険会社の事業である。(民間に委託するということも考えられる。)
9	④事業主体の代替可能性	自主運営の共済制度は時代に合わないため、民間保険会社に委託したらどうか。補償内容の充実・多様性に対応するためにも、民間の知恵を活用するとよいと思う。

No.	I. 評価の観点	II. 評価コメント
10	⑥事業の効率化	事業規模に比して人件費が大きすぎる(人件費がこの通りの数字であるならば)。実は人件費が過大に見積もられており、かなり収益性の高い事業なのではないか。果たして税金を使って行なうのに相応しい事業なのか。
11	⑥事業の効率化	一般会計からの人件費と基金積立金が硬直化しており、非常に非効率である。
12	⑥事業の効率化	事業の収支バランスの点からも、この共済事業の内容を再構築が必要だと思う。
13	⑦今後の事業の方向性	実施する必要があるのか。
14	⑦今後の事業の方向性	さいたま市などの廃止事例を研究して、当市の独自のアイデアを打ち出すべき時期である。
15	⑦今後の事業の方向性	保障内容を強化した共済は新しく出す予定はないのか。区民交通傷害保険のように追加料金を出し損害賠償額を増やすプランも考えて欲しい。
16	⑦今後の事業の方向性	アンケート結果で87%の方が事業継続を希望されているが、約59万人の市民の数からすると加入者が少なすぎる。受付期間が限定的(受付方法も含む)であるところから見直すべきではないか。
17	⑧その他	「民間の補完」としての存在意義を主張できないか検討の余地あり。事業規模に比して、このような大きな基金を持っていて良いのか。
18	⑧その他	事業費と人件費のバランスに疑問を感じる。

【評価結果(第二部会)】

・部会員からの評価(意見・アドバイス等)を受け、部会としての評価結果を以下にまとめました。

評価コメント
◆民間でできる事業、加入率の低さ等の点から、今の時代に必要とされていないのではないかと。また、人件費と基金積立金が硬直化しているため非効率である。民間保険会社に委託することなども含め検討が必要。
◆続けるのであれば、今のまま継続するのではなく、他市の廃止事例を研究し、民間の知恵を活用しての独自のアイデア、新しいタイプの保険等を打ち出すことが必要だろう。
◆市実施の事業であることで安心・安全と思い加入している人も多い。加入率を上げる方策としては、町会費集金時にあわせて加入依頼することも効果があると思う。
◆民間の保険と比較して検証していくとよいのではないかと。今の時代に適い、かつ市がやるべき事業であるというような形にしていく必要があるのではないかと。民間でできることであれば民間で、民間の補完であるのであれば市でやるといったところを整理するとよい。

意見の修正について

部会名	
氏名	

(1) 修正の有無(どちらかに○を記入してください。)

修正あり	
修正なし	

→ 修正内容を **(2) 修正内容の記入** に記入してください。

(2) 修正内容の記入

【記入方法】

- ①「平成28年度川口市行政評価外部評価結果」を参照のうえ、修正が必要な事業名及び意見番号を記入してください。
- ②この用紙には、「Ⅰ. 評価の観点」、「Ⅱ. 評価コメント」について、**修正後の内容がわかるように記入してください。**
- ③修正すべき意見が2つ以上ある場合は、意見ごとに区切り線を記入のうえ、前後の区別がつくように記入してください。

* 修正がある方は、8月5(金)までに企画経営課までメール(040.05020@city.kawaguchi.lg.jp)、もしくはFax(048-257-1008)にてご提出をお願いします。

* データで入力をご希望の方は、事務局までお申し出ください。

事業名	No.	Ⅰ. 評価の観点	Ⅱ. 評価コメント

* 極力大きな文字で、楷書での記載をお願いします。

平成 28 年度 川口市行政評価外部評価委員会
委員アンケート

委員の皆様におかれましては、外部評価委員会において適正な評価にご尽力いただき誠にありがとうございました。川口市は今後とも効率的・効果的な行政評価の運営に努めてまいります。

つきましては、今回の外部評価委員会における実施計画事業の評価を踏まえ、今後の外部評価委員会の運営品質向上に向けたご意見、また、事業の高質化に向けたご意見をいただけますと幸いです。

お手数ではございますが、以下の項目（Q1.～Q5.）について最も当てはまる項目を選択し、必要に応じて選択理由もご記載ください。

[外部評価の手法について]

Q1. 評価の考え方

今年度は 8 つの観点に基づき、事業そのものに対するご意見をお出しいただきましたが、このような手法は、評価する上でいかがだったでしょうか。（○は 1 つのみ）

とても分かり易かった ・ まあまあ分かり易かった ・ 少し分かりにくかった ・ とても分かりにくかった

【「少し分かりにくかった」あるいは「とても分かりにくかった」を選択された場合】

Q1-1.具体的にどのような部分が分かりにくかったでしょうか。

Q2. 評価の体制

今年度は、事業内容をよりご理解いただくために、1 事業につき委員会を 2 回実施しました（1 回目：ヒアリングが中心、2 回目：評価が中心）が、いかがだったでしょうか。（○は 1 つのみ）

評価しやすかった ・ 評価しにくかった

【「評価しにくかった」を選択された場合】

Q2-1.具体的にどのような部分が分かりにくかったでしょうか。

裏面へ続く

[外部評価委員会の運営について]

Q3. 事前説明について（第1回外部評価委員会での評価手法の説明）

（○は1つのみ）

とても分かり易かった ・ まあまあ分かり易かった ・ 少し分かりにくかった ・ とても分かりにくかった

【「少し分かりにくかった」あるいは「とても分かりにくかった」を選択された場合】
Q3-1. 具体的にどのような部分が分かりにくかったでしょうか。

--

Q4. 第2回・第3回外部評価委員会（事業評価）について

Q4-1. 評価事業の数（第一部会・第二部会：各4事業）（○は1つのみ）

多すぎる ・ 多い ・ 丁度良い ・ 少ない ・ 少なすぎる

Q4-2. 事業評価シートのわかり易さ（○は1つのみ）

とても分かり易かった ・ まあまあ分かり易かった ・ 少し分かりにくかった ・ とても分かりにくかった

Q4-3. 評価の所要時間（今年度は1事業当たり約40分～45分）（○は1つのみ）

非常に長い ・ 長い ・ 丁度良い ・ 短い ・ 非常に短い

Q4-4. 部会の開催回数（今年度は2回）や期間（6月末～7月中旬）（○はそれぞれ1つのみ）

《回数》	多い ・ 丁度良い ・ 少ない
------	-----------------

《期間》	多い ・ 丁度良い ・ 少ない
------	-----------------

[評価のご感想]

Q5. その他、外部評価委員会に関するご意見・ご要望やご感想等がありましたら自由にご記入ください。

--

氏名 _____

以上です。
ご協力ありがとうございました。